

2020年11月1日

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

**愛媛県立南宇和高校「えひめ次世代マイスター育成事業におけるGAP学習会」で講演**

2020年10月31日、愛媛県立南宇和高校で、「令和2年度えひめ次世代マイスター育成事業におけるGAP学習会」が開催され、代表の宮本泰邦が講演しました。南宇和高校の生徒に加えて、北宇和高校の生徒や教職員も参加されました。

本学習会は、愛媛県教育委員会が実施する「えひめ次世代マイスター育成事業」の「GAP取得モデル校」として、農業生産技術能力や経営感覚を兼ね備えた人材を育成するとともに、本県のGAP教育の推進に取り組むことを目的に行われています。

講演では、**SDGs・持続可能な農業を実現する具体的プログラムであるグローバルGAP**の説明や、GAP取り組みの目的や考え方、準備、審査対応、実際の農業法人経営での活用事例の紹介を行いました。具体的な日々の取り組みとして、当社が開発したITクラウドを活用したGAP認証取得支援システムの「**MOG-GAPシステム**」による栽培記録、収穫からお客様に届くまでのトレサビリティ管理、審査対応、生産性改善活動、経営分析なども紹介しました。

<MOG-GAPシステム：<https://gap.orange-garden-inc.jp/>>

当社は、お客さま、お取引先、従業員とその家族全ての生活者に、みかんや農業を通じて喜んで頂きたいとの想いがあります。また、みかんでだけでなく、野菜果物の新しい価値創造に努めてまいります。今後も引き続き、世界最高品質のみかんを目指して、おいしく、安心安全、高品位・高付加価値のみかんづくりを研究・実践し続けます。また、グローバルGAPおよびASIA GAPへの取り組みを通じてSDGs・持続可能な農業を実現し、GAP普及に向けた支援を積極的に行い、地域貢献、および農業界の発展に尽力いたします。

以上

